



BOARD OF STUDIES
NEW SOUTH WALES

2005

HIGHER SCHOOL CERTIFICATE
EXAMINATION

--	--	--	--	--

Centre Number

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

Student Number

Japanese Background Speakers

General Instructions

- Reading time – 10 minutes
- Working time – 2 hours and 50 minutes
- Write using black or blue pen
- Monolingual and/or bilingual print dictionaries may be used
- Japanese Writing Booklets are available for answers written in Japanese
- Write your Centre Number and Student Number at the top of this page and page 7

Total marks – 100

Section I Pages 2–5

20 marks

This section has two parts, Part A and Part B

- This section should take approximately 50 minutes

Part A – 10 marks

- Attempt Question 1

Part B – 10 marks

- Attempt Question 2

Section II Pages 7–17

55 marks

This section has two parts, Part A and Part B

Part A – 40 marks

- Attempt Questions 3–4
- Allow about 1 hour for this part

Part B – 15 marks

- Attempt Question 5
- Allow about 30 minutes for this part

Section III Page 18

25 marks

- Attempt ONE question from Questions 6–8
- Allow about 30 minutes for this section

Section I — Listening and Responding

20 marks

This section should take approximately 50 minutes

Part A – 10 marks

Attempt Question 1

You will hear ONE text. The text will be read twice. There will be a two-minute pause after the first reading in which you may make notes. However, you may make notes at any time. After the second reading you will have 12 minutes to answer Question 1. Write your answers in ENGLISH in the spaces provided. In the case of multiple-choice questions, tick the box that corresponds to the correct response. There will be a warning after 10 minutes to indicate that you have two minutes left to complete your answers.

In your answer you will be assessed on how well you:

- identify the main points and detailed items of specific information
- analyse the way in which language is used to convey meaning

話を聞いて次の解答欄に英語で答えなさい。メモはいつ取ってもかまいません。話は2回繰り返され、1回目と2回目の間に更に2分間メモをとる時間があります。2回目の話の後には、12分間、解答のための時間があります。

選択問題は正しい答えの□に印をつけなさい。10分経過後、解答のための残り時間が2分になったことを知らせるアナウンスがあります。

問題1では、次のことがどれだけよくできているかによって評価されます。

- 話の全般的な意味や特定の詳細を聞きとること
- 意味の伝達に使われている表現方法を分析すること

	Marks	Candidate's Notes
Question 1 (10 marks)		
(a) インタビューを受けているのは、誰ですか。	2	
Who is being interviewed? Give details.		
.....		
.....		
.....		

Question 1 continues on page 3

Question 1 (continued)

Marks

Candidate's
Notes

(b) 不耕地栽培とトキの関係を説明しなさい。

3

Explain the relationship between seasonal non-plough farming and the *Toki*.

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

Question 1 continues on page 4

Japanese Background Speakers

Section I (continued)

Part B – 10 marks

Attempt Question 2

You will hear TWO texts. The texts will be read twice. There will be a two-minute pause after the first reading of the texts in which you may make notes. However, you may make notes at any time. After the second reading of the texts you will have 20 minutes to answer Question 2. Write your answer in JAPANESE in the Japanese Writing Booklet provided. Extra Japanese Writing Booklets are available. There will be a warning after 18 minutes to indicate that you have two minutes left to complete your answer. You may proceed to Section II as soon as you have finished Question 2.

In your answer you will be assessed on how well you:

- compare and contrast information, opinions and ideas
- compose a well-structured argument supported by textual reference
- convey information and ideas accurately and appropriately

二つの話を聞いて原稿用紙に日本語で答えを書きなさい。メモはいつ取ってもかまいません。話は2回繰り返され、1回目と2回目の間に2分間更にメモをとる時間があります。2回目の話の後には、20分間、解答のための時間があります。原稿用紙は余分に用意されています。

18分経過後、解答のための残り時間が2分になったことを知らせるアナウンスがあります。問二が済み次第セクションIIを始めてもかまいません。

問題2では、次のことがどれだけよくできているかによって評価されます。

- 情報、意見、考えを比較検討すること
- テキストを基にして、論理の展開を工夫して議論を構成すること
- 情報や考えを正確、適切に伝えること

Question 2 (10 marks)

あなたの友だちは英語を学ぶためにオーストラリアに留学することを考えています。二つの話を聞いて、留学を成功させるためのアドバイスを友だちに手紙の形式で書きなさい。400字から500字でまとめること。

A friend is considering studying in Australia. Using information from both texts, write a letter to your friend in which you advise him/her how to successfully study English abroad. Your letter should be in 400–500 *ji* in JAPANESE.

You may now proceed to Section II

BLANK PAGE

Japanese Background Speakers

--	--	--	--	--

Centre Number

Section II — Reading and Responding
55 marks

--	--	--	--	--	--	--	--	--

Student Number

Part A – 40 marks

Attempt Questions 3–4

Allow about 1 hour for this part

Read the text and answer Question 3 in either JAPANESE or ENGLISH in the spaces provided.

In your answer you will be assessed on how well you:

- identify and analyse specific information
- analyse the way in which language is used to convey meaning
- compose a well-structured argument supported by textual reference

文章を読み、次の解答欄に日本語または英語で書きなさい。

問題 3 では、次のことがどれだけよくできているかによって評価されます。

- 特定の情報を読み取り、分析すること
- 意味の伝達に使われている表現方法を分析すること
- テキストを基にして、論理の展開を工夫して議論を構成すること

Question 3 (15 marks)

Please turn over

Question 3 (15 marks)

1 十歳ぐらいの、頭にカーラーをつけた女の子がフェリーの中で食べ物を売って
2 ました。ベトナム名物の「春巻はるまき」みたいなものでした。本当だったら、学校へ行
3 っているはずの時間帯たいでした。でも、残念ざんねんながら、誰も買かってくれる人がいなくて、
4 今日きょうは商売にならないという感じでした。ほかにも、野菜を売っている子ども、果くだ
5 物を売ものっている子どももいました。みんな学校に行かないで、商売をしている子ど
6 もでした。ベトナム全土では、小学校に入学した子どもの五〇パーセントが、働く
7 ために退学たいがくせざるを得えないという話でした。

中略

8 私たちは、その夜間小学校のひとつを訪たずねました。キム・リエン小学校でした。
9 ホーチミン市内でも、とくに貧しい地域で、小さな尼寺あまでらを借りて、夜の七時から九
10 時半まで開かれています。七人の先生が、六歳から十五歳までの子どもたち
11 百九十三人を教えていました。私は、夜間小学校というのを初めて見ました。これ
12 まで行ったアフリカにも、インドにも、もちろん、日本にも夜間小学校はありませ
13 ん。
14 六歳ぐらいの小さな子どもが目めをこすりながら、暗い電気の下で、可愛かわいい声を出
15 して、読み方や算数を勉強していました。なかには、まぶたとまぶたがくつつい
16 やうので、人さし指と親指で目を開けている子もいました。

Question 3 continues on page 9

17 いちばんの問題は、ノート、教科書、文房具が極端に足りないことでした。紙も
 18 鉛筆も十分でないから、黄ばんだ、わら半紙のような紙に、小さい字で、きれいに
 19 書いていました。小さい字で書くのは紙がもったいないからでした。でも、小学校
 20 の低学年で小さい字を書くのはむずかしいです。それでも、みんな、アリのような
 21 小さい字で書いていました。私は大きい字で書いて、ビリビリと破っては紙を捨て
 22 ていた自分を責める気持ちでいっぱいでした。鉛筆がないので、ペンにインクをつ
 23 けて使っている子も、たくさんいました。

中略

24 貧しいために昼間働き、夜、小学校へ来て勉強する子どもたち。あどけない声で、
 25 黒板の字を読む六歳ぐらいの男の子を見ていたら、突然、涙が出てきました。日本
 26 で六歳の子どもといったら小学校の一年生です。ランドセルを買ってもらって、明
 27 日の時間割りを調べ、この時間には、テレビを見たり、お風呂に入ったり、もう寝る
 28 時間です。たしかに、日本の子どもたちの勉強もたいへんです。もっともっと進ん
 29 だ、むずかしい勉強をしています。塾にも行っています。でも、この子どもたちよ
 30 りは幸せだと思うのです。日本の子どもたちが、自分たちが、どれだけ幸せか、そ
 31 れに気がついていないのも不幸なのだ、私の涙は、そういう涙だったのです。

Question 3 continues on page 10

Question 3 (continued)

- (a) 「十歳ぐらいの、頭にカーラーをつけた女の子がフェリーの中で」～「働くために退学せざるを得ないという話でした」
(Lines 1-7) 2

この部分で、筆者はどのような気持ちで、子供を描写していますか。

Describe the writer's feelings towards the children in this extract.

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

- (b) 「これまでに行ったアフリカにも、インドにも、もちろん、日本にも夜間小学校はありません。」 (Lines 11-13) 3

筆者がこの文を書いた意図を説明しなさい。

Why does the writer include this sentence?

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

Question 3 continues on page 11

Question 3 (continued)

- (c) 「ベトナムの夜間小学校」全体を読んで、日本の子ども達は「幸せ」だと思いますか。それとも、「不幸」だと思いますか。あなたの考えとその根拠を全文に基づいて論じなさい。

4

Do you think that children in Japan are fortunate or unfortunate? Discuss this question with reference to this story as a whole.

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

Question 3 continues on page 12

BLANK PAGE

BLANK PAGE

Japanese Background Speakers

Section II – Part A (continued)

Answer Question 4 in either JAPANESE or ENGLISH in a SEPARATE writing booklet. Japanese Writing Booklets are provided to those choosing to write in Japanese. Extra writing booklets are available.

In your answer you will be assessed on how well you:

- analyse features of text
- analyse the relationship of text to the prescribed theme
- analyse the way in which language is used to convey meaning
- compose a well-structured argument supported by textual reference

日本語または英語で書きなさい。別の解答用紙、または原稿用紙に記入すること。解答用紙と原稿用紙は余分に用意されています。

問題 4 では、次のことがどれだけよくできているかによって評価されます。

- テキストの特徴を分析すること
- 課題のテーマとテキストのテーマの関係を分析すること
- 意味の伝達に使われている表現方法を分析すること
- テキストを基にして、論理の展開を工夫して議論を構成すること

Question 4 (25 marks)

あなたは日本の学校が行う「マルチカルチャーデー」で、スピーチをすることになりました。

「民族と文化」に表された作者の『他民族の文化を知ることの大切さ』について自分の考えを述べなさい。

日本語の場合は600～800字で、英語の場合は300～400語にまとめなさい。

You are to present a speech at the Multicultural Day in a Japanese school.

In your speech, make reference to the importance of understanding other cultures as portrayed in *Minzoku to bunka*.

Write in either 600–800 *ji* in JAPANESE or 300–400 words in ENGLISH.

Section II (continued)

Part B – 15 marks

Attempt Question 5

Allow about 30 minutes for this part

Answer Question 5 in JAPANESE in a SEPARATE Japanese Writing Booklet. Extra Japanese Writing Booklets are available.

In your answer you will be assessed on how well you:

- exchange information in response to opinions, ideas and information
- compose a well-structured argument supported by textual reference
- convey information, opinions and ideas accurately and appropriately

日本語で書きなさい。原稿用紙に記入すること。原稿用紙は余分に用意されています。

問題 5 では、次のことがどれだけよくできているかによって評価されます。

- 文章に表われた情報や意見、考えを読み取り、情報を伝え合うこと
- テキストを基にして、論理の展開を工夫して議論を構成すること
- 情報や考えを正確、適切に伝えること

Question 5 (15 marks)

次の記事を読み、雑誌の編集者に、自分の意見を手紙の形で書きなさい。400～500字にまとめなさい。

Question 5 continues on page 17

携帯メールの時代

今 や携帯電話は、若者の間では、電話として使用するのではなく、メールを交換するためのものになってきているようだ。

ある高校教師によると、近頃の学校では授業中でも学生達が机の下でメールを打ち合っているという。キーも画面も見ずに、親指一本でメールをうてる技術は学生達の必須科目なのだそうだ。机の下で漫画を盗み読んでいた頃とは、事情が違うらしい。また、友達から来たメールに返事を出さなければ、仲間はずれにさ

れかれない。その恐怖から、学生達は、いつでも携帯を持ち歩き、あらゆる機会にメールをチェックするし、自分が友達の輪からはずされていけないことを確認しようとする。

携帯電話を使つての、親指から生まれるコミュニケーションには、新しいタイプの危険も潜んでいる。迷惑メールは後を絶たないし、契約使用料もばかにならない。メールの匿名性を利用して、ある個人の中傷を一時に大量に送信することも可能なのだ。面と向かって

のいわゆる「いじめ」では、被害者に加害者の姿が見えている。しかし、匿名メールでの「いじめ」は、被害者には加害者が見えず、またどれだけの中傷メールが出回って、被害がどこまで広がっているのかもわからない。

携帯メールは、安価でいつでもどこでもコミュニケーションがとれるという便利さを我々に与えてくれた。しかし、この文明の利器は、使い方によっては、凶器ともなりうるのである。

End of Question 5

Please turn over

Section III — Writing in Japanese

25 marks

Attempt ONE question from Questions 6–8

Allow about 30 minutes for this section

Answer the question in JAPANESE in a SEPARATE Japanese Writing Booklet. Extra Japanese Writing Booklets are available.

In your answer you will be assessed on how well you:

- write text appropriate to context, purpose and audience
- sequence and structure information and ideas
- demonstrate a range and control of language structures and vocabulary
- maintain reader interest

日本語で書きなさい。原稿用紙に記入すること。原稿用紙は余分に用意されています。

ここでは、次のことがどれだけよくできているかによって評価されます。

- 状況や目的に応じて適切な文を書くこと
- 情報や考えを順序よく構成すること
- 言語構成や語彙の豊かさ、それを駆使する能力を示すこと
- 読者の興味を保つこと

あなたは若者を代表して少子化問題を考える日本のシンポジウムに参加することになりました。

次の三つのトピックから一つを選んで、600～800字の文に書きなさい。

Question 6 (25 marks)

少子化現象が社会に与える影響について、シンポジウムで発表するための小論文を書きなさい。

OR

Question 7 (25 marks)

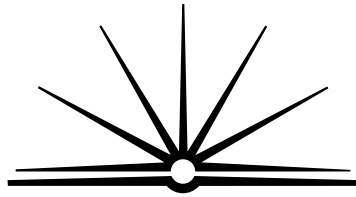
少子化の主な原因は、「出産後女性の職場復帰がむずかしいからである」という意見に対する自分の考えを、シンポジウムで発表するための小論文を書きなさい。

OR

Question 8 (25 marks)

少子化によって若者が受けている影響について、シンポジウムで発表するための小論文を書きなさい。

End of paper



B O A R D O F S T U D I E S
NEW SOUTH WALES

2005

**HIGHER SCHOOL CERTIFICATE
EXAMINATION**

Japanese Background Speakers (Section I — Listening and Responding Part A and Part B)

Transcript

Familiarisation Text

FEMALE 1 : きのは暑かったので、友達と一緒に、ビーチに行きました。波が高かったから、泳がないで、ビーチバレーボールをして帰りました。

MALE : きのは暑かったので、友達と一緒に、ビーチに行きました。波が高かったから、泳がないで、ビーチバレーボールをして帰りました。

FEMALE 2 : きのは暑かったので、友達と一緒に、ビーチに行きました。波が高かったから、泳がないで、ビーチバレーボールをして帰りました。

Section I — Listening and Responding

Part A

Question 1

FEMALE (アナウンサー) :

「人と自然」の時間です。学名ニッポニア ニッポンと呼ばれる美しい鳥トキが、絶滅の危機にひんしているのは、ご存じのとおりです。佐渡で実際にこのトキと暮らしている例をご紹介します。

MALE (農家の男性) :

今日はうちが20年来取り組んでいる環境にやさしい米づくりについて話す機会をいただいて、有難く思っています。私はトキが絶滅しかかっているのは、農薬漬けの米づくりのせいだとかねがね思っていました。そんなわけで、うちは、不耕地栽培という農薬と化学肥料を使わない米づくりをやっています。不耕地栽培というのは、秋に稲刈りをしてから、田を耕さずに、そのまま田んぼにずっと水を張っておく。

すると切り株やらなんやから、緑っぽい藻やこけみたいなものが出てくるんです。もちろん、農薬や化学肥料は使わない。そうやって、秋から冬にかけてほっといて、春めいてくると緑のどろどろした水になります。その水には、酸素がいっぱい入っているから、めだか、ドジョウ、タニシなんかがたくさん出てきて、それがトキのえさになるんですよ。こうすると、土地も肥えるから、米の味もよくなる。耕さなくてもいいから、農家の負担だって軽くなるんです。まさに人間とトキが共生できる米づくりだと思っています。

FEMALE：今回また、トキの保護に関して、大きな予算がついたそうですが、、

MALE：それがよう、トキが絶滅するって、がたがた騒がれだしてから、国や県、農業振興公社なんかは、とんでもねえ金かけて、村の山側のところに、トキのえさになるドジョウやタニシが住めるところをわざわざ作ってんだよ。そんなとこ、わざわざつくなくなっちゃって、うちの田んぼにや、ドジョウやタニシがうじゃうじゃ出てくるんだよ。これだと余分な金もかからねえ。人手だってかかんねえ。年寄りに聞いたら、昔はトキなんて、村のどこにもいて、稲刈りした後の田んぼで、追いかけてこしてたんだってよう。トキがいなくなっちゃうような農薬漬けの農業なんて、人間の体にいいわけねえよ。人工的にトキの数だけ増やしゃいいってもんじゃねえよ。そんなふうにとキを人間から隔離して、金かけて増やしたって、いつときはトキの数が増えるだろうけど、ちょっとしたら、また減っちゃうよ。それより、人間もトキも一緒に暮らしていけるようにするほうが、自然だよ。それが、本当に環境にやさしいってことじゃねえの？国や県のお役人さんに言いてえんだけどよう、金かけてトキを守るんじゃなくて、化学肥料や農薬を使わない米づくりで、もっと多くの百姓が不耕地栽培ができるように国の金を使ってくれよ。

Section I — Listening and Responding

Part B

Question 2, Text 1

テキスト 1

今や若者にとって英会話は必須アイテム。常識ですね。そこで、みんながそれなりに話せるなかで、差をつけるのは、クールな英会話。教養が光ります。英会話スクールメッセは、ヤングのための英会話学校。目的に応じていろいろなコースが選べます。

まずは、大学入試専門の、受験英語コース。学年ごとのクラスではなく、レベルに応じたクラス編成と、入試のための徹底したカリキュラムで、ボキャブラリーと文法をしっかりおさえ、実力アップ間違いなし！特に外語大入試なら、メッセにおまかせください。

それから、留学をめざす君には、留学準備コースがおすすめ！留学で必要なアカデミックイングリッシュと現地での生活に必要なエブリデーイングリッシュの両方をしっかりゲット！現地についたその日から、留学生活がエンジョイできます。

そして、メッセの一番の売りは、OLや女子大生に大人気のホリデー英会話コース。今や、海外旅行は年中行事。気軽に外国にでかけられる時代。でも、せっかく海外に出かけても、なんでもツアーガイドに頼っちゃうのは、ちょっとつまらないですよ。それにグループでみんな同じところに行くのも、この個性化の時代には、かっこわるーって思ってるみなさん、メッセなら、旅行ですぐ使える英会話が楽しみながら、身につきます。飛行機の中から、ホテルのチェックイン、ショッピングやレストランでの英会話など、旅行中のさまざまな場面に応じた英会話が、ロールプレーを通して自然に身につくんです。

いかがですか？メッセの充実のコース。講師はすべてネイティブスピーカー。コースを始めたその日から、あなたはもう国際人です。Let's start now!

Section I — Listening and Responding

Part B

Question 2, Text 2

テキスト 2

FEMALE : ねえ、英会話スクールメッセの「ホリデー英会話コース」って、どうかしら？よさそうじゃない？来年大学に入ったら、やってみようかな？

MALE : なんで？大学に入ったら、そんなに海外旅行に行くつもりなの？

FEMALE : 別にそんなつもりじゃないけど、、、だって、英会話なんて今どき、常識じゃない。

MALE : でも、君は大学で日本史を勉強するんじゃないの？日本史にも英語が必要かなあ？

FEMALE : 日本史に必要ってわけじゃないけど、今日本は国際化して、みんなが英語を話すようになってきてるじゃない？だから、英語話せたほうがいいわよ。

MALE : そうかなあ？僕は別に英語できなくてもいいと思うけど。みんながみんな英語話す必要ないよ。外国に興味がある人や仕事で英語使う人は別だけど。海外留学だって、ただ英語を身につけるために行くんだったら、意味ないと思うよ。いくら英語が話せるようになったって、内容があまりないこと話したってしかたないじゃないか。

FEMALE : ふるーい！そんなこと言っていると、将来結婚しても成田離婚されちゃうわよ。木村君ちのお兄さんみたいにね。そのお兄さん、新婚旅行でぜんぜん英語ができなくて、お嫁さんにあいそつかされたんだって。

MALE : 英語ができるかできないかだけで、人を判断するような相手と結婚生活続けるほうが不幸だと思うけど。